

令和7年度 学校評価アンケート結果報告

1. 調査概要

対象：生徒・保護者・地域・教員

回答数・率：

生徒：748名（回答率91.9%） 回答率が高い。学校への意識の高さを感じる。

保護者：506名（回答率62%） 回答率が上昇(48%→62%)。次年度もこまめなりマインド
をすることでより多くの回答を得るように尽力する。

地域：52名（Web52・紙10） 地域の方々が回答しやすい項目を検討する。

教員：45名（回答率100%）

2. 総合評価（肯定的回答率の平均）

生徒：約85%

保護者：約64%

地域：約53%

教員：約85%

3. 強み（高評価項目）

生徒：基礎基本の指導（92%）、進路ガイダンス（92%）、教育目標の適切さ（92%）

保護者：入学させてよかった（85%）、学校行事の充実（83%）、教育方針の適切さ（75%）

地域：地域に開かれた学校（89%）、部活動の活発さ（78%）

教員：基礎基本重視（100%）、進路指導充実（94%）、地域開放（91%）

4. 課題（低評価項目）

生徒：学校設備の充実（73%）、特色の認知（74%）

保護者：いじめ対応（35%）、進路指導の保護者連携（46%）

地域：文化祭評価（33%）、窓口対応（32%）、登下校マナー（46%）

女子生徒がスカートの下に履いているスウェットを学校に入る前に脱ぐ姿が地域
住民に不快に思われている。校内でのルールを守るために、近隣住民に不快な思
いをさせているのは問題。ステッカーの無い自転車（無許可の自転車）を校外に駐輪
する行為も同様。近隣から不快に思われる行動はとらないように指導をする。

教員：学校設備（31%）、業務効率化（80%）

5. ステークホルダー間の認識差

学校行事：生徒77%/保護者83%/地域33%/教員91%

設備充実：生徒73%/保護者53%/地域73%/教員31% （8. 改善策参照）

進路ガイダンス：生徒 92%／保護者 66%／教員 94%

いじめ対応：生徒 86%／保護者 35% （8. 改善策参照）

6. 年度比較（生徒）

設備充実：78% → 73%（-5pt）

いじめ対応：90% → 86%（-4pt）

進路ガイダンス：94% → 92%（-2pt）

7. 自由記述の主な意見（8. 改善策参照）

設備・衛生：トイレ・廊下の改善要望

授業運営：進度差・テスト範囲周知の遅れ

校則・スマホ：全面禁止から「使い方教育」への転換を検討する。

進路指導：保護者連携不足、推薦枠拡充希望

部活動：情報共有不足、安全対策要望

地域：登下校マナー改善、文化祭公開日数拡大希望

保護者：意見は様々であり、個人的なものも多く、両極端な印象。

それにもかかわらず全体として学校満足度が高い。

8. 改善策（次年度重点）

設備改善の見える化（進捗公開）＝改築(仮校舎も含む)の進捗情報公開

いじめ対応の信頼回復（対応フロー・実績の情報発信）

授業標準化とテスト範囲周知統一（Classi/Teams 一本化）

進路指導の保護者連携強化（面談計画・情報配信）

地域連携とマナー指導（交通マナー週間・広報改善）

部活動運営の透明化（保護者会・安全対策）

文化祭公開枠の検討（安全体制とセット）

9. 総括

教育・進路の基盤は堅実：生徒・教員評価は高水準

保護者・地域への情報発信が課題：「見える化」と連携強化で改善

短期改善策：授業進度管理、登下校マナー、補習見直しなど

町会の清掃は日曜日なので高校生と一緒ににはやれないが、平日に近隣のごみ拾い活動などを行うことで、近隣住民との関係を改善することができる。
こうした活動を具体的にはじめる方向で検討する。